

第 42 回鹿児島県高等学校新人フェンシング競技大会 (全国選抜九州地区大会予選) 要項

- 1 主 催 鹿児島県高等学校体育連盟，鹿児島県教育委員会
- 2 後 援 公益財団法人鹿児島県スポーツ協会，鹿児島県フェンシング協会
- 3 主 管 鹿児島県高等学校体育連盟フェンシング競技専門部
- 4 期 日 令和 7 年 11 月 15 日（土）・16 日（日）
開 会 式 8 時 40 分
競技開始 1 日目 9 時 00 分・2 日目 9 時 00 分
1 日目 学校対抗エペ，個人対抗エペ予選～決勝，学校対抗フルーレ
2 日目 個人対抗フルーレ予選～決勝，学校対抗サーブル，
個人対抗サーブル予選～決勝
※参加人数に応じて日程変更の可能性あり
- 5 会 場 鹿児島県立鹿児島南高等学校フェンシング場
- 6 競技規則 (1) 日本フェンシング協会の規則による。
(2) 武器検査は試合前に必ず受けるものとする。
- 7 競技方法 学校対抗
(1) 全試合電気用具を使用する。
(2) トーナメント方式とする。
(3) 1 チームは 5 名編成とし，3 名によるリレー方式とする。
※リレー方式団体戦の実施は，F I E（国際フェンシング連盟）の競技規則を適用する。
個人対抗
(1) 各種目，全試合電気用具を使用する。
(2) 各種目ともプール方式とトーナメント方式の混合方式とする。
(3) プール方式では，男子・女子とも 3 分間（実働）5 本勝負，トーナメント方式では，男子・女子とも 3 分間（実働）3 セット（セット間の休憩は 1 分）15 本勝負とする。但し，例外として，サーブルの第 1 セットは 3 分間が経過した場合か，または，一方の選手が 8 点を先取した場合に終了する。
- 8 引率・監督 (1) 引率責任者は，団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。
また，校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第 78 条の 2 に示された者）も可とする。ただし，「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は，県高体連会長に事前に届け出ること。
【参考】
引率が認められる職員とは，校長・教頭・教諭・助教諭・養護教諭・養護助教諭・講師（常勤）・部活動指導員・実習助手である。ただし，実習助手については，以下の条件を全て満たし，校長が承認した者である。
 - 1 正規職員であること
 - 2 当該部活動の指導を常時行っていること

3 教員免許状の普通免許状を有していること又は免許法認定講習等で生徒指導に関する単位を1単位以上取得し、かつ6年以上の勤務経験があること

(2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。但し、(2)について全国高等学校体育連盟各競技専門部における別途規定が定められている場合は、その規定に従うことを原則とする。

- 9 参加資格
- (1) 本年度鹿児島県高等学校体育連盟加盟校在籍学生で1・2年生に限る。ただし、休学中、留学生の生徒は除く。
 - (2) 年齢は平成19（2007）年4月2日以降に生まれたものとする。ただし、出場は同一競技2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
 - (3) チームの編成は全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
 - (4) 複数校合同チームの大会参加については、本連盟が別途に定める「複数校合同チーム大会参加規程」に従う。
 - (5) 転校・転籍後6か月未満の者は参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）但し、一家転住等やむを得ない場合は県高体連会長の認可があればこの限りでない。（大会出場許可申請書を提出）
 - (6) 参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
 - (7) その他の事項については、上位大会実施要項に準ずる。
 - (8) 参加資格の特例による学校（生徒）の参加については、鹿児島県高等学校新人体育大会開催基準要項の「参加資格の特例」並びに「大会参加資格の別途に定める規定」のとおりとする。

10 参加制限 学校対抗

- (1) 男女とも各校1チーム。
- (2) 1チームの人員は監督1名、選手5名。

個人対抗

- (1) フルーレ・エペ・サーブルとも1校15名以内。
- (2) 1人2種目以内とし、エペ・サーブルの2種目参加はできない。

11 参加申込 参加申込みに際しては、「個人情報保護及び肖像権に関わる取扱いについて」を承諾した上で申し込むものとする。

- (1) 申込締切日 令和7年11月4日（火）15:00 までに必着
- (2) 申込方法 当該学校長の責任において所定の申込書により1部作成し、作成した参加申込書をPDF化し、PDF化したファイルを指定のファイル送信システムにアップロードして申し込む。（「大会参加申込提出要領」参照）

※ 別途、参加者名簿等のデータを必要とする競技は、データの提出方法及び連絡先を記載する。

- (3) 申込先 県高等学校体育連盟事務局が指定するファイル送信システム
- (4) 参加申込書提出後に出場を辞退しなければなくなった場合（学校単位）は、速やかに専門員委員長に連絡をし、大会出場辞退届を県高体連事務局に提出する。

- 12 大会参加負担金 (1) 参加申込生徒一人当たり 500 円とし、参加申込書に記載された選手数（マネージャー等は除く。）を乗じた額とする。なお、大会直前に選手の追加があった場合は、選手数に加える。
- (2) 参加を予定とする実人数とする。（重複しての徴収はしない。）
- (3) 大会参加申込後に体調不良等により大会に参加しなかった選手がいても、参加申込書に記載された選手数分の金額を徴収する。
- (4) 大会参加負担金は、後日、高体連事務局から各学校に請求する。
- 13 表 彰 団体・個人とも 3 位まで表彰する。
- 14 そ の 他 学校対抗
- (1) 1 位は全九州高等学校選抜大会兼全国高等学校選抜大会九州地区予選会の出場権を得る。
- (2) 今年度の全国選抜大会は第 50 回の記念大会として実施され、全県・全種目に 1 校ずつ出場資格が与えられる。各ブロック（九州枠）で出場枠を満たしていない場合は、各県 2 位以下のチームで予選会を行い、その枠を埋めることができる。